



夏季の軽装(クールビズ)期間中での撮影であったため、ノーネクタイ・ノー上着で失礼します!

【編集後記】

本報告書の作成に当たっては、前回作成した『環境報告書2005』の反省点を踏まえつつ、可能な限り定量的な記述となるよう十分に留意し、かつ可能な限り早く発行する、ということを目指し、上半期中の発行を目指して原稿の作成に取り組んでまいりました。

実際には、平成17年度の取組を取りまとめることに四苦八苦し、思うように原稿の作成が進まず、やっとのことで作り上げたというのが正直なところです。

思い起こせば、郵政公社発足から3年、環境への取組は着実に進捗しているものと実感しておりますが、この私たちの「環境保全への取組という行為」について、本報告書で皆さまにどの程度までお伝えすることができるのであろうか…『環境報告書2006』を作り上げた今、安堵している反面、「もっとこうすればよかった」などと早くも後悔と反省をしている気持ちも否定できません。

次回作成する際には、今回の反省も活かしつつ、更なる充実した内容となるよう、引き続き努力してまいります。「bridge to the next」を使命として。

記述内容についてはまだまだ不十分な点が多いかとは存じますが、是非ともご覧いただきました皆さまから、忌憚のないご意見をいただきましたら幸いです。

日本郵政公社CSR室 環境・社会貢献担当一同



この環境報告書は、エコマーク認定の古紙配合率100%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ大豆油インキで印刷されています。